

活動場所が、七尾市から輪島市へ変更！

DWA T活動イメージ



- ステップ2
- ステップ3
- ステップ4

七尾市での活動を展開していた岡山DWA Tですが、2/17(土)から石川県の輪島市での活動にシフトしました。

当初からの計画で、

ステップ1 1.5次避難所の開設・運営

ステップ2 七尾市・志賀町の支援

ステップ3 穴水町・能登町の支援

ステップ4 輪島市・珠洲市支援 という想定で、

災害福祉支援ネットワーク中央センターは活動展開のイメージを持たれ、各県DWA Tに情報共有を図られていました。

この度、ステップ4における輪島市と、DWA Tの役割・活動等について理解、また活動展開の調整が図られたことにより、今後のクールは、輪島市を中心にDWA Tの活動を展開していきます。

※ステップ3については引き続き調整中のため、ステップ4へ進んでいるとのこと。

派遣された岡山DWA Tチーム員に感想を聞いてみました！

派遣された岡山DWA Tチーム員に、色々な課題等もあったとは思いますが、「こんなことが参考になった、勉強になった！」「自分はこんな役割が果たせた！」「DWA T活動はこんなことがスゴイ！」等、派遣を通しての感想や意見を聞いてみました。

第9クール
(1/25~1/30)
加納 忠紘さん



七尾市にて活動をさせていただきました。

雪の降る中、道路状況がつかめない中の巡回活動をさせていただきました。雪が解けてきたときに改めて、震災の跡がまざまざと感じました。

今回、サブリーダーとして活動をさせていただき、避難されている方の福祉ニーズを市の職員・現場で活動されている方へつなぐ役割の中で、困難なこともありましたが、各避難所に常駐されている他県のDWATの方々から、「初めて派遣されたので、巡回時に話を聞いてもらえると安心します」との言葉をいただき、今回の災害支援について、現地のニーズ調査という任務だけではなく、DWAT内での関係づくりの大切さを改めて学ばせていただきました。

第1クール
(1/10~1/14)
重實 剛さん



・能登半島の DWAT 活動は「多府県連合チームが ONE TEAM となり活動している。」
・従来の駐在型の活動ではなく、巡回型から駐在先をアセスメントする方式を採用。
・チーム戦でもあるが「被災地の今」を読み解く【個の力が試された】派遣となったと心から感じた。

前後のクール員が自分だけで完結しようという姿勢でなく、詳細な申し送りをしてくれて後に繋げようとしてくれたので、不安なくスムーズに活動できました。また、同じく活動を共にしたチームとのチームワークもよく、クール期間中の役割は果たせたのではないかと考えています。

自分が行ったクールの中では発災から 1 カ月経過し被災地の状況も日々変化し、福祉機関も復旧しつつある状況で、行政や相談支援事業所も機能していた様に感じました。避難されている方で潜在的なニーズがある人はまだまだ多いですが、必要に応じて活動を市外の避難所へ早く移行したほうがよいか状況の予測と判断をすること、また DWAT の活動期間も限られている中で、永続的に支援に関わる事は不可能であり将来的な自立の援助をどのように行えるかという視点が今回の派遣を通して重要になると感じました。

第13クール
(2/2~2/7)
船尾 浩之さん



小学校の廊下を掃除して土足禁止にした時や、ラジオ体操の時間、他に支援に来ている人を上手く巻き込みながら、気がつけば避難者も含め多くの人が参加。

運営側の意図を汲み取りながら、周りの人たちに相談したり。

「自分たちはこっちをするんで、あっちお願いできますか」「いいよ！」っていつの間にか 皆で頑張ろうという空気を作り出せる人たちが DWAT には多いです。一緒に活動出来ることに感謝しなかったです。

第3クール
(1/14~1/18)
八田 早代さん



岡山県災害派遣福祉チーム (DWAT) 第3期派遣チーム員が決定!

能登半島地震支援に向け、2月28日から4月1日までの第26クールから第40クールとなる岡山DWATチーム員派遣の第3期募集に対し、20名の応募があり、15名の派遣が決定いたしました!